

オクトパスストックアプローチシステム

オクトパスストックアプローチシステムは、幅方向の坪量プロファイルをより均一に近いものに改善します

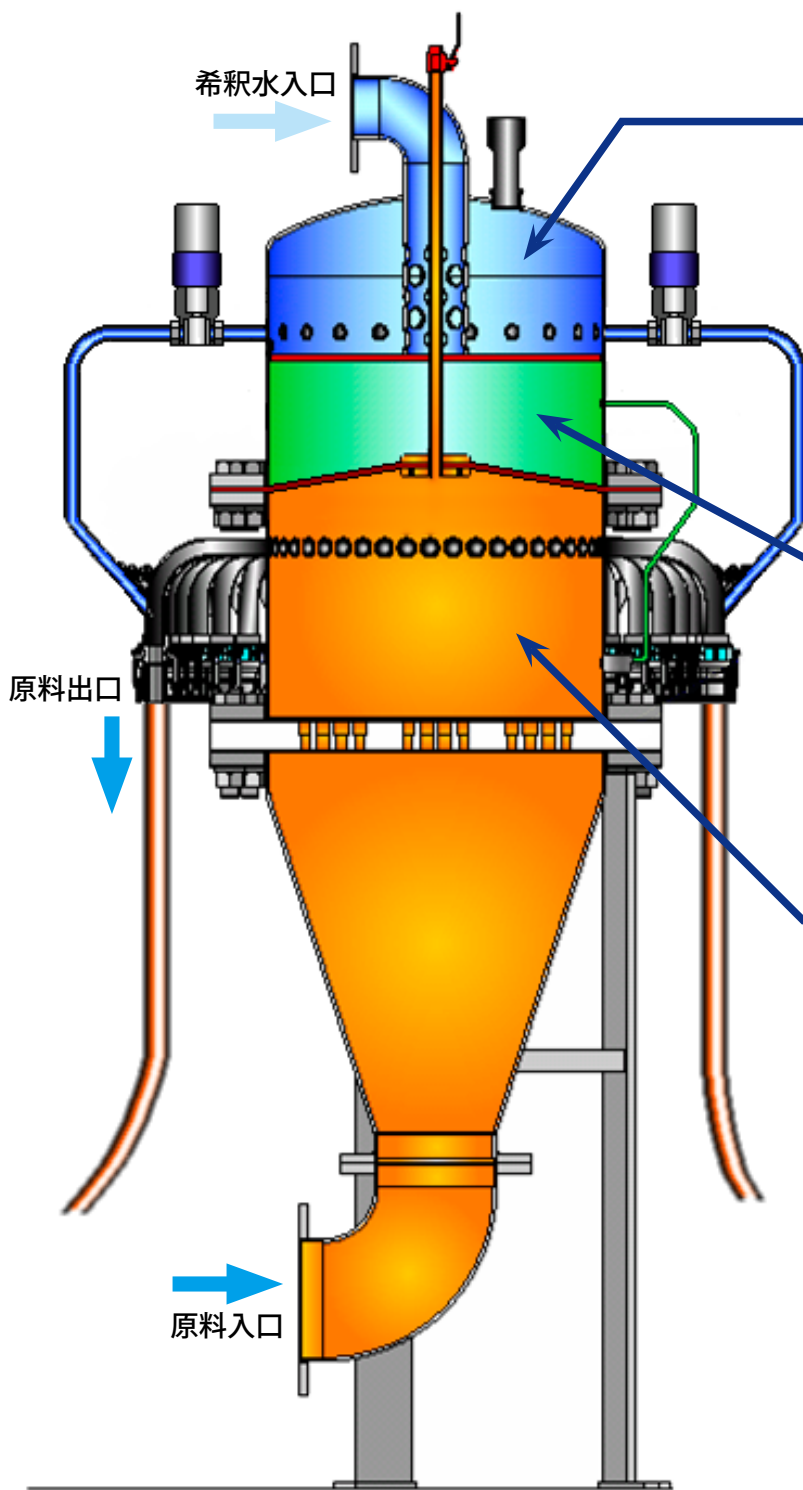


既設のヘッドボックス本体をそのまま流用し、わずかなスペースで設置が可能です。北米において、100ユニット以上が順調に操業しています。国内においてもユーザーのニーズに合わせた改良を加え、順調に操業しています。

オクトパスストックアプローチシステムの特長

- CD プロファイルの改善
- 抄き替え時間の短縮
- 脈動の減衰
- 系内のエア除去
- 既設ヘッドボックスの CP 制御化が容易

オクトパスストックアプローチシステムの構造



» 希釈水ヘッダ室

- 希釈水量が変化してもヘッダ内圧力は一定
- 希釈後の原料分配管出口の流量は一定

» アテニューエータ室

ダイヤフラム隔離方式の採用

- レベルコントロール不要
- 内部洗浄シャワ不要
- 粕落ちや泡の巻き込みがない

» 原料分配室

- パスカルの原理により常に均一な圧力
- 均一な流量をホースへ分配

» 希釈水条件

- 一般的にマシン白水を使用
- 原料との温度差±5℃以下を推奨